



# 北海道子ども読書応援団ニュース 06

## ゆめ\*よみ

編集担当  
北海道教育庁生涯学習推進局  
生涯学習課社会教育・読書推進グループ  
TEL:011-204-5744  
FAX:011-232-2236

### 各地の読書応援団の活動



#### 空知

・応援団名：「ぷちパンプキン」（秩父別町） ・代表：小島 雅子 ・会員数：6名

#### 【活動内容】

町の図書館にて月に1度読み聞かせ会を行っているほか、人形や小道具、衣装などを手作りし、10月の読書週間に図書館と連携して人形劇などのイベントを実施している。また、学校と連携し、総合的な学習の時間に読み聞かせを行い、子どもたちの読書活動推進の一端を担っている。

#### 石狩

・応援団名：「おはなしの会 ピノキオ」（千歳市） ・代表：東方 弘美 ・会員数：6名

#### 【活動内容】

市立図書館にて、毎月第3水曜日の午前11時から絵本の読み聞かせを行っているほか、育児サークルや学校での出前読み聞かせ、乳幼児健診会場での読み聞かせも実施している。平成19年度の優良読書グループ北海道表彰を受賞している。

#### 後志

・応援団名：「大川小ブックママ」（余市町） ・代表：藤田 愛子 ・会員数：16名

#### 【活動内容】

町内の大川小学校においては、月2回読み聞かせを行っているほか、児童の本への関心を高めるため、図書室の飾り付けなど、読書環境整備にも力を入れている。また、旭中学校においても読み聞かせを行うなど、活動の幅を広げている。

#### 胆振

・読み聞かせ 「ひだまりの会」（壮瞥町） ・代表：谷岡 典子 ・会員数：9名

#### 【活動内容】

毎月、乳幼児や小学生、お年寄りを対象とした読み聞かせを実施しているほか、町の図書フェスティバルにおいても読み聞かせや紙芝居等を行っている。また、平成22年度において、優良読書グループ北海道表彰を受賞している。

#### 日高

・応援団名：読み聞かせの会「絵本のとびら」（日高町） ・代表：野澤みゆき ・会員数：15名

#### 【活動内容】 平成22年度日高管内教育実践表彰受賞

町内外の学校を訪問しているが、活動の中心である門別小学校では、低学年の「朝読書の時間」や中学年以上の「総合的な学習の時間」に読み聞かせを行っている。また、門別中学校では生徒が幼児と触れ合う機会に行う読み聞かせのための技術指導、富川高等学校では朗読指導等を実施している。





#### 渡島

・応援団名：「函館絵本の会『銀のふね』」（函館市） ・代表：加藤 ひとみ ・会員数：15名

#### 【活動内容】

地域での読み聞かせ活動を積極的に行っているほか、昨年6月には、函館市民の会「被災地の子どもたちへ絵本を送ろう！プロジェクト」の構成団体として、チャリティーイベントにも参加するなど、東日本大震災の被災地支援へ継続的に取り組んでいる。

#### 檜山

・応援団名：「絵本サークル ポポリン」（江差町） ・代表：室谷恵美子 ・会員数：6名

#### 【活動内容】

町の図書館での読み聞かせのほか、ブックスタート事業や町内の各小学校等での読み聞かせも実施している。また、図書館との共催事業として「クリスマス会」の企画運営も行っている。平成5年の優良読書グループ北海道表彰を受賞している。

#### 上川

・応援団名：ポコ・ア・ポコ（和寒町） ・代表：加藤 尚子 ・会員数：6名

#### 【活動内容】

和寒町図書館において定例読み聞かせ会を月1回開催している。平成23年度からは乳幼児を対象とした「あかちゃんおはなし会」も毎月開催するほか、クリスマス会等、季節に合わせたイベントも開催している。北海道読書推進運動協議会より、平成23年度優良読書グループ北海道表彰を受賞している。

#### 留萌

・応援団名：おはなしの会「もこもこ」（留萌市） ・代表：浅沼 亮子 ・会員数：14名

#### 【活動内容】

市立留萌図書館主催の「土曜おはなし会」や「ちいさいこのおはなしかい」で読み聞かせを行っているほか、地元の放送局FMもえるで「おはなし」の魅力を毎週発信している。平成19年度の北海道地域活動振興協会理事長賞を受賞している。

#### 宗谷

・応援団名：「おはなしくれよん」（豊富町） ・代表：矢田 教子 ・会員数：6名

#### 【活動内容】

毎月、町民センターで、絵本の読み聞かせを定期的に行っているほか、年に一回は特別公演として人形劇や紙芝居などの活動も実施している。平成20年度の宗谷管内教育実践表彰や平成21年度の優良読書グループ表彰「北海道地域活動振興協会理事長賞」を受賞している。

#### オホーツク

・応援団名：読み合いサークル「じゃん・けん・ぽん」（佐呂間町） ・代表：真如 智子 ・会員数：3名

#### 【活動内容】

佐呂間町立若佐小学校において、毎週水曜日の午後2時半から30分程度、低学年を対象に絵本の読み聞かせを行っているほか、町内のさまざまな行事や乳幼児検診の会場でのブックスタート事業において、読み聞かせを実施している。





### 十勝

・応援団名：お話し会「カッコウ」（上士幌町） ・代表：山下京子 ・会員数： 7名

#### 【活動内容】

町の図書館にて、毎月第2土曜日に絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを行っているほか、上士幌小学校での出前読み聞かせ、親子対象のジャンボ紙芝居づくりを実施している。平成23年度の優良読書グループ全国表彰を受賞している。

### 釧路

・応援団名：「絵本の会 おはなしはらっぱ」（弟子屈町） ・代表：笹島 久美 ・会員数：13名

#### 【活動内容】

平成3年より町の図書館で、毎週土曜日の午後1時から読み聞かせ活動を実施しているほか、町内の2つの小学校や、9・10か月相談会場での読み聞かせも実施している。平成21年度の全国優良読書グループ表彰を受賞している。

### 根室

・応援団名：「ぐりとぐらのえほんぼけっと」（羅臼町） ・代表：根塚 香奈子 ・会員数：7名

#### 【活動内容】

春松小学校を月1回訪問し、朝の読書の時間に1～2年生を対象に、絵本の読み聞かせを行っている。また、年数回、春松小学校の開放スペースを利用し、親子を対象とした「おはなし会」で絵本の読み聞かせ、紙芝居などを実施している。



## 道教委の取組

北海道「朝読・家読運動」のイメージキャラクター「ぶっくん」に決定！

道教委では、今年度から、子どもたちの望ましい読書習慣定着のため、「朝読・家読運動」を全道展開しており、イメージキャラクターを募集したところ、道内の小・中学生から1,796点の応募があり、その中から、ニセコ町立ニセコ小学校4年の福井杏果さんの作品「ぶっくん」が選ばれました。

「ぶっくん」は、顔が本の形で、めがねが本の意味のBOOKになっており、本を読んで心の栄養をたっぷり吸収しているので、丸いめがねがハート型になっている愛くるしいキャラクターです。愛称の「ぶっくん」にはBOOKの意味が込められています。

道教委では、イメージキャラクター「ぶっくん」を、子どもの読書活動推進に向けた啓発資料などで使用していきます。なお、「ぶっくん」は道教委のホームページに掲載してありますので、市町村教育委員会や学校などで読書習慣の定着に向けた取組を進める際に、是非ご活用ください。



【URL】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/move/dokusyo/dokusyoindex.htm>

## 「子どもの読書活動推進プログラム」を策定しました

平成19年度から実施している全国学力・学習状況調査の結果から、本道の子どもたちの学力は、全国平均を大きく下回り、極めて深刻な状況にあります。児童生徒質問紙調査によると、読書の好きな児童生徒の方が平均正答率が高い傾向にあり、読書習慣と学力の間には関連があることから、朝の読書や家での読書を通じた読書習慣の定着を図っていくことが必要となっており、これらの課題に対応するため、道教委としては、本プログラムを策定しました。

本プログラムには、市町村教育委員会や学校・家庭・地域における子どもの読書活動の取組事例も掲載しておりますので、市町村教育委員会や学校においては、本プログラムを参考に、それぞれの実情に応じて家庭や地域と一体となり、子どもの読書活動の推進に向けた取組を積極的に進めていただくことを期待しています。

なお、「子どもの読書活動推進プログラム」については、道教委の生涯学習課のホームページに掲載しています。



【URL】 <http://www.dokuyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/move/dokusyo/dokusyoindex.htm>

## 「ほっかいどうブックフェスティバル」を開催しました

道教委は、読書関係団体などが日ごろの取組の成果を生かして、親子の読書活動を豊かにするためのプログラムを実践し、自らのスキルアップや団体間の交流、ネットワークの充実を図るとともに、道内における「朝読・家読運動」の展開をはじめとした読書活動の輪を広げることが目的として、11月23日に深川市の道立青年の家で、「ほっかいどうブックフェスティバル」を開催しました。

当日は、会場となった道立青年の家に空知管内を中心に、後志、留萌、上川、石狩、オホーツク管内などから400人を超える親子や読書関係者が集まりました。

会場では、読み聞かせや読書と関連する体験活動、多くの図書の紹介、道内の取組の展示など、様々なプログラムや展示物を通して図書や仲間と触れ合い、多くの交流が行われる中で、子どもから大人まで、笑顔あふれる1日となりました。

## お知らせ

家庭教育サポート企業による「家読（うちどく）チャレンジ ～この本1000人読んだかな～」

上川管内家庭教育サポート企業ネットワーク「上川23ネット」では、家族と一緒に読書をするこ  
とで、子どもたちの望ましい読書習慣の定着を図ることを目的として、北海道青少年育成協会が選  
定した「北海道青少年のための200冊」のうち、幼児から小学生向けの本について、簡単な感想  
やコメントをホームページ上に記載して、読書の楽しさを共有していく取組を行っています。



上川管内以外からも参加が可能です。ご家庭から直接、当該ホームページにアクセスするなどして参加してください。【URL】 <http://www.pc-media.co.jp/uchidoku.html>

## お願い

読書応援団に関する特色ある活動や様々な実践、研修会の案内などの情報をお寄せください。北海道読書応援団の加入状況は185団体（平成24年2月7日現在）であり、まだまだ、読書応援団を募集しています。

くわしくは・・・

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育・読書推進グループ

TEL 011-204-5744 FAX 011-232-2236

